



第5回（通算第21回） 定時社員総会 特別講演

中部大学教授・日本化学会会長
山本 尚 氏

【略歴】

1967年京都大学工学部工業化学科卒、1971年米国ハーバード大学大学院博士課程修了、Ph. D.、東レ基礎研究所研究員、京都大学講師、ハワイ大学准教授、1983年名古屋大学助教授、同大学教授を経て、2002年シカゴ大学化学教室教授、2012年中部大学教授、名古屋大学・シカゴ大学名誉教授。2016年6月～2018年6月日本化学会会長。

破壊的イノベーションを 目指して

イノベーションは「破壊的イノベーション」と「持続的イノベーション」に分けられる。破壊的イノベーションとは既存の科学技術や社会制度を破壊し、全く新しいシステムに塗り替えることができるイノベーションであり、これによってそれまでの社会の在り方を一変させるものである。

今世紀に入って、当量反応であった化学プロセスは、そのほとんどが触媒反応に塗り替えられている。触媒は化学における典型的な破壊的イノベーションであり、文字通り旧来の化学を塗り替えている。触媒を駆使した化学産業は、さらにフロー・システムを導入し、化学工場の景色までもが一変している。

講演ではそうした触媒が起こしつつある世界的な化学イノベーションと、それに対する山本教授の試みが紹介される。

5月25日（木）17:00-17:45

ホテルJALシティ田町 地階「鳳凰」

東京都港区芝浦3-16-18（JR田町芝浦東口より徒歩5分）TEL: 03-5444-0202



お問合せは（公社）日本工学アカデミー 事務局まで

TEL: 03-5442-0481 E-mail: academy@ejaj.or.jp HP: <https://www.ejaj.or.jp>